CASBEE名古屋 評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016　|使用評価ソフト： CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要

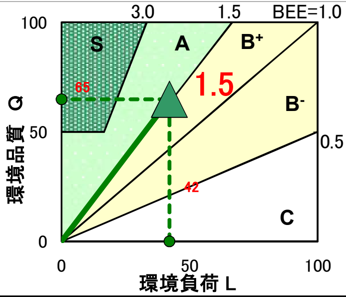
建物名称	(仮称)名駅南二丁目計画　新築工事	階数	地上42F　地下1F
建設地	名古屋市中村区名駅南二丁目702－1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,323　人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760　時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月　予定	評価の実施日	2020年2月7日
敷地面積	5,899 ㎡	作成者	
建築面積	1,718 ㎡	確認日	2020年2月7日
延床面積	53,805 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

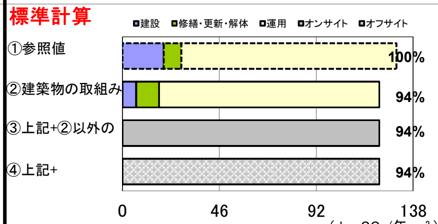
= BEE 1.5 ★★★★

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



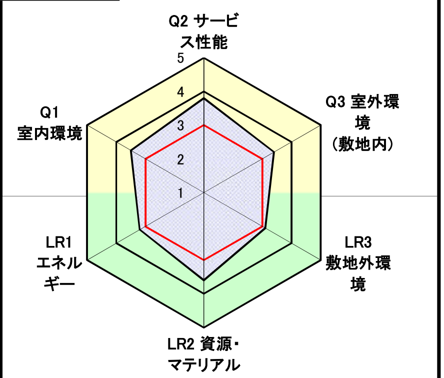
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

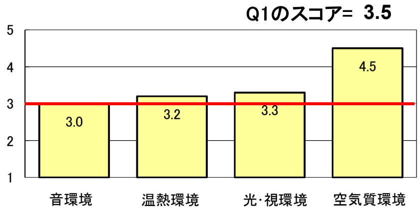
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



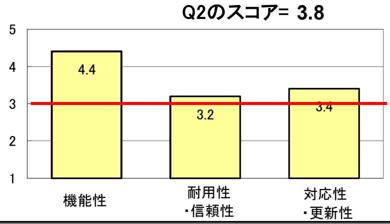
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.5

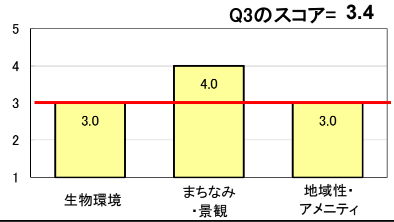
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.8

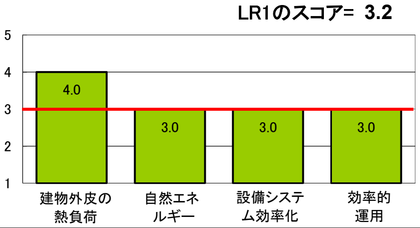


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.4

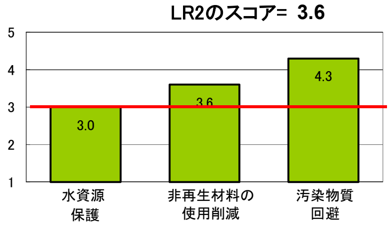


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.3

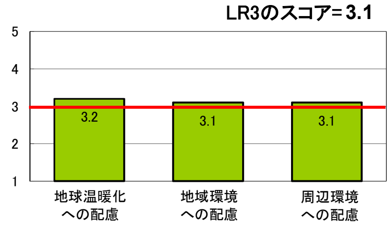
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.6



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項

総合

空地を確保し、緑豊かな景観を創出するとともに、暖かみと落ち着きのある色彩計画により周辺環境と調和するよう計画。

その他

Q1 室内環境

室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。

Q2 サービス性能

劣化対策等級3など耐久性に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

建物周辺には樹木を配置、敷地を包み込むような植栽計画とし、周辺の景観に配慮している。

LR1 エネルギー

断熱等性能等級4取得予定

LR2 資源・マテリアル

有害物質を含まない建材種別を採用している。

LR3 敷地外環境

敷地周辺に緑地帯を設け、周辺地域に良好な景観を提供している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される